

山城eco木材供給協議会 京都産材製材品等価格表  
住宅・中規模建築物、及び大規模建築物のインフィルBOX・仕切り用

平成27年秋

使用部位	樹種	乾燥	等級	寸法			単価		備考				
				T(背)	W(幅)	L(長)	円	単位					
土台	ヒノキ	KD		105	105	4,000	<b>6,600</b>	本	KTS				
							<b>5,000</b>	本	KTS				
				120	120		<b>8,600</b>	本	KTS				
							<b>6,500</b>	本	KTS				
大引	ヒノキ	KD		90	90	3,000	<b>3,400</b>	本	KTS				
				105	105		<b>5,000</b>	本	KTS				
管柱	杉	KD	並	105	105	3,000	<b>3,300</b>	本	KTS(3寸正角)				
				120	120		<b>4,400</b>	本	KTS(4寸正角)				
	ヒノキ	KD	並	105	105		<b>5,000</b>	本	KTS(3寸正角)				
				120	120		<b>6,500</b>	本	KTS(4寸正角)				
	杉	集成材	並	105	105		<b>3,350</b>	本	JAS4☆、2種、使用環境C				
				120	120		<b>4,450</b>	本	JAS4☆、2種、使用環境C				
通し柱	杉	KD	並	120	120	6,000	<b>13,000</b>	本	KTS				
		集成材	並				<b>14,000</b>	本	JAS4☆、2種、使用環境C				
	ヒノキ	KD	並				<b>22,000</b>	本	KTS				
間柱	杉	KD	並	27	105	3,000	<b>850</b>	本	KTS				
							30	<b>950</b>	本	KTS			
							45	<b>1,400</b>	本	KTS			
				27	120		<b>980</b>	本	KTS				
							30	<b>1,100</b>	本	KTS			
							45	<b>1,600</b>	本	KTS			
	ヒノキ	KD	並	27	105		<b>1,300</b>	本	KTS				
							30	<b>1,400</b>	本	KTS			
							45	<b>2,100</b>	本	KTS			
				27	120		<b>1,500</b>	本	KTS				
							30	<b>1,600</b>	本	KTS			
							45	<b>2,400</b>	本	KTS			
小割	杉	KD	並	27	40	3,000	<b>390</b>	本					
							30	60	<b>650</b>	本			
				15	40				4,000	<b>290</b>	本		
							20	35		<b>340</b>	本		
										35	35	<b>590</b>	本
							45	45				<b>970</b>	本
	45	60	<b>1,300</b>	本									
			ヒノキ	KD	並		27	40		3,000	<b>580</b>	本	
	30	60							<b>970</b>		本		
							15	40	4,000		<b>430</b>	本	
	20	35									<b>500</b>	本	
											35	35	<b>880</b>
45	45	<b>1,500</b>				本							
		45	60	<b>1,950</b>	本								
											<b>4,650</b>	本	KTS
		<b>5,050</b>	本						KTS				
		<b>6,300</b>	本						KTS				

山城eco木材供給協議会 京都産材製材品等価格表  
住宅・中規模建築物、及び大規模建築物のインフィルBOX・仕切り用

平成27年秋

使用部位	樹種	乾燥	等級	寸法			単価		備考
				T(背)	W(幅)	L(長)	円	単位	
横架材(桁、梁)	杉	KD	並	105	180	4,000	<b>7,600</b>	本	KTS
					210		<b>9,800</b>	本	KTS
					240		<b>12,100</b>	本	KTS
					270		<b>14,800</b>	本	KTS
					300		<b>19,000</b>	本	KTS
					330		<b>22,200</b>	本	KTS
					360		<b>25,700</b>	本	KTS
					390		<b>29,500</b>	本	KTS
					120		120	<b>5,800</b>	本
				150			<b>7,200</b>	本	KTS
				180			<b>8,650</b>	本	KTS
				210			<b>11,100</b>	本	KTS
				240			<b>13,800</b>	本	KTS
				270			<b>16,900</b>	本	KTS
				300			<b>21,600</b>	本	KTS
				330			<b>25,400</b>	本	KTS
				360			<b>29,500</b>	本	KTS
				390	<b>33,700</b>		本	KTS	
	ヒノキ	KD	並	105	105	4,000	<b>6,600</b>	本	KTS
					120		<b>7,600</b>	本	KTS
					150		<b>10,800</b>	本	KTS
					180		<b>15,200</b>	本	KTS
					210		<b>20,300</b>	本	KTS
					240		<b>27,300</b>	本	KTS
					270		<b>39,700</b>	本	KTS
					300		<b>53,000</b>	本	KTS
					330		<b>62,400</b>	本	KTS
				120	120		<b>8,650</b>	本	KTS
					150		<b>12,300</b>	本	KTS
					180		<b>17,300</b>	本	KTS
					210		<b>23,200</b>	本	KTS
					240		<b>31,100</b>	本	KTS
					270		<b>45,400</b>	本	KTS
杉	集成材		105	180	4,000	<b>8,300</b>	本	JAS4☆、E85,F225	
				240		<b>12,500</b>	本	JAS4☆、E85,F225	
				300		<b>19,500</b>	本	JAS4☆、E85,F225	
			6,000	180		<b>14,000</b>	本	JAS4☆、E85,F225	
				240		<b>19,000</b>	本	JAS4☆、E85,F225	
				300		<b>24,000</b>	本	JAS4☆、E85,F225	
構造用合板	ヒノキ・杉複合	特類2級CD		9	910	1,820	<b>1,400</b>	枚	JAS4☆
				12			<b>1,800</b>	枚	JAS4☆
				15			<b>2,500</b>	枚	JAS4☆
				24			<b>3,600</b>	枚	JAS4☆、SQまたはTG



# 山城eco木材供給協議会 京都産材製材品等価格表

住宅・中規模建築物、及び大規模建築物のインフィルBOX・仕切り用

平成27年秋

使用部位	樹種	乾燥	等級	寸法			単価		備考
				T(背)	W(幅)	L(長)	円	単位	
<b>条件</b>									
1) 荷渡し	山城管内現場O/T渡し。トラックは平車(平積)。物流において、船のFOB(Free on Board)やトラックのO/Tは最も標準的な単価構成で、荷下し料金は別途見積もり、もしくは荷受け主(工事請負業者)の工事内訳において共通仮設費に含まれることとなっています。								
2) 荷下し料金	荷卸し、ユニック車、補助人員必要な場合は、別途料金です。								
3) 単位	最小構成は小結束単位。5tトラックを標準とします。5~15m3まで積載可能です。								
4) プレカット	各種対応可能。別途料金となります。材規格最大は150×450×6000となります。								
5) JAS,KTS	上記資材単価はJAS、KTS規格品であり、構造用集成材や合板の接着材はフェノール樹脂による☆4。造作用や化粧の接着材はすべて酢酸ビニルエマルジョン系か水性高分子イソシアネート系であり、ホルムアルデヒドは全く使用されていません。								
6) 特殊部材	TWL及び樹種、乾燥・仕上げ、節の有無、程度ご指定の上、リスト作成いただければ(木拾表)、別途見積りいたします。								
7) 木拾い	構造図からの木拾いは別料金となります。								
8) 改訂	単価改定は春・夏・秋・冬と実施します(ホームページ掲載予定)。								
9) 物価スライド	国土交通省、農林水産省、及び内閣府等からの大きな物価変動のアナウンスがあった場合、速やかに再見積りさせていただきます。								
10) 産地	建築物トータルに見て、御指定の予算にてより良く府内産木材を使用していただくため、合法木材など他の国産材も取り扱っております。さらにはパーチクルボードなどコストパフォーマンスの高いリサイクル建築資材についてもお見積りさせていただきます。								
11) SQまたはTG	床用厚物合板での、横方向の凸凹継ぎ手の有り無し。TGは本実(ほんざね)加工有り、SQ(スクエアエッジ)は無し。有りの場合はTG(実(ざね)加工有り)と指定してください。 参考:Tongue and Groove(舌と溝)。一般に管資材等の継ぎ手の仕様用語です。								
<b>参考</b>									
1) KTS	京都木材規格。無垢、構造材ともにJASと同じ基準をクリアしています。ISO規格やJASなど、より広域な範囲をカバーすると、認証事務や手数料が過大になり、消費者に余分な負担が掛かることも起こります。このため、京都府など一部の地域で、「地域材はその地域で国やISOと同等のハードルをクリアするシステムを構築する」という消費者に配慮したアクションが活発化しています。つまり、生産者の顔が見えるために、余分な検査を省略し、例えば乾燥や強度など、集成材においては仕上げ強度のみを管理するなどの合理化・省力化を図り、高額になりがちな安心・安全の地域材の価格を認証経費においてコストダウンを図るというものです。								
	参考HP <a href="http://www.kyomokuren.or.jp/kts/">http://www.kyomokuren.or.jp/kts/</a>								
2) JAS 4☆	ホルムアルデヒド放散量。4☆は最も高い安全度です。これに対してコンパネ等土木用は3☆。								
	参考HP <a href="http://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/pdf/kikaku_47.pdf">http://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/pdf/kikaku_47.pdf</a>								
3) KD	人工乾燥材(Kiln Dry Wood)のこと。仕上げ材で造作(内装用)用がSD18、構造用がSD20が標準。未仕上げ材でそれぞれ、D18、D20ないしD25。室内の平衡含水率(ちようど木が水分を呼吸する状態での木の水分を含む量)を配慮しています。								
4) 仕上げ	モルダ(4面~プレーナ。複合仕上げ機械)ないし、プレーナ(回転刃)で仕上げたもので、平滑できれいな材面となります。SD20で、仕上げ材を指定することになります。また、回転刃でない『かんな機』で加工した <b>超仕上げ</b> は、見える場所により1~4面加工があり、構造材では「○面加工」と指定が必要となります。								
5) 等級	単価表はすべて「並」材、他に、「無節」「上小節」「小節」があります。別途見積もりいたします。								
6) 二種	構造用集成材(内装用・化粧・仕上げでない)において、普通に使用されるものであり、特に節の補修などがしてないものとなります。								
	参考HP <a href="http://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/pdf/kikaku_47.pdf">http://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/pdf/kikaku_47.pdf</a> 第5条構造用集成材の項参照								
7) 使用環境C	集成材は外装(屋根によってある程度は環境が良い)や外構にも使用されます。Cは屋内環境での使用条件で、普通の使用方法。準耐火であり、非耐火となります。								
8) 通し柱	1Fと2Fを貫く柱です。必ず4寸(120)角です。家を箱と考えた場合、4隅に設置されることが多いですが、桁が2本突っ込まれるので断面の欠損が大きく、ホール金物などの性能が向上と壁構造の普及のため、使われなくなって来ていますが、日本の伝統的な在来軸組工法では必要不可欠となっています。								
9) 特類	合板のうち、屋外使用できる一番対候性の高い分類です。接着剤はフェノール樹脂系であり、強度とホルムアルデヒド放散量のバランスが最も良いコスト=性能パフォーマンス品です。								

山城eco木材供給協議会 京都産材製材品等価格表  
住宅・中規模建築物、及び大規模建築物のインフィルBOX・仕切り用

平成27年秋

使用部位	樹種	乾燥	等級	寸法			単価		備考
				T(背)	W(幅)	L(長)	円	単位	
10) 2級									<p>構造用合板の1級は特殊設計用(特注)に緻密な強度試験をクリアするように製造されています。一方、2級では厚さを強度の基準とし、厚みに応じたヤング率を設計に使用します。</p> <p>これは、合板が柱や横架材という枠組み、つまり壁や床の中に下地用として使用され、枠組みの持つ強度(基準値1)に対する補強の度合い(倍率)、つまり係数により強度を勘案する設計手法を用いることによります。</p> <p>&lt;○mm合板ならの壁なら2倍など&gt;</p>
11) CD									<p>合板の表(フェイス)と裏(バック)の材の品質。Aが最良であるが、AやBはラワン等南洋材を指し化粧用の特注、国産針葉樹合板ではC-Dが普通。</p>
12) インフィル (スケルトンイン フィル(SI))									<p>スケルトン・インフィル(SI)とは、建物のスケルトン(柱・梁・床等の構造躯体)とインフィル(仕切り・内装等)とを分離した工法で、それぞれの償却期間の違いに応じたものであることと、ユーザーの価値観の変化に対応するのは間取りなどの使い勝手だけであって、丈夫に作った構造そのものまで早期に立て替えるものではないという概念に基づく。石の文化の欧米では従来からの考え方。また、スケルトンだけでマンションを分譲する中国も同様。免震構造のスケルトンであれば、様々な人体によいとされる従来の木質内装やインフィルBOXのデザインが楽しめます。</p>